

## 秋田内陸縦貫鉄道ボランティア活動

昨年5月の学校報にも載せましたが、秋田内陸縦貫鉄道(以下、内陸線)の主な歴史を記します。

西暦		できごと
1922	T11	鷹角線が建設予定線に編入
1932	S7	阿仁合線の線路工事開始
1934	S9	阿仁合線、米内沢まで開業
1937	S12	阿仁合線、阿仁合まで開業
1941	S16	角館線、工事を中止
1949	S24	工事を再開
1958	S33	阿仁合線、鷹巣～比立内が開通
1970	S45	角館線、角館～松葉、部分開通
1984	S59	秋田内陸縦貫鉄道株式会社設立
1986	S61	秋田内陸線南線(角館～松葉)
		秋田内陸線北線(鷹巣～比立内) 旅客運輸営業開始
1989	H1	秋田内陸縦貫鉄道(角館～鷹巣) 全線開通

内陸線の計画ができてから全線開通するまで、多くの紆余曲折があり67年を要しました。先人の思いのこもった内陸線です。

9月28日(月)午後、左通駅と羽後中里駅の白線引きに全校で出かけました。松木内中学校区の内陸線駅は6駅です。1年に2駅ずつ白線を引きました。今年は3年目で、この活



動が一巡したところです。活動の途中で上りと下り、1本ずつの車両が通り、生徒は乗客に手を振って利用御礼・歓迎のあいさつをしました。

今回のボランティア活動は「松木内に愛を届けよう大作戦」と銘打たれ「地域に感謝の気持ちを発信しよう」というねらいの下で実践しました。「肯定的自己理解と自己有用感の獲得」(キャリア教育)を目指しています。乗客が手を振り返してくれたとき、そして、マスキングテープを外し自分たちの塗り映えを確認したときに、自分たちの行いの確かさを味わったに違いありません。ご家庭でも、どうぞ、話題にあげてくださいますようお願いいたします。

【余談】①白線引きの最中に「電車」という言葉が聞かれましたが、内陸線では電車は走っていません。

公式ウェブページでは「列車」という語を用いています。この「列車」、辞書を引くと「旅客・貨物のために連結された鉄道車両」「旅客・貨物のために仕立てられた車両の一つらなり」とありました。

②「羽後中里」は駅の看板には「うごなかさと」(UGONAKASATO)と書いてありますが、公式ウェブページ内の路線図や時刻表には「うごなかざと」と書かれています。以上、細かいことですが、心に引っかかった【余談】です。他意はありません。

